

許せなは!

# 人の命より党利党略を最優先

言っていること、悪いことの区別もつかないのですか?

## 公明党

### 医療事故を共産党攻撃に利用

公明党は、今年東京の民医連の病院でおきた医療事故を、「患者そっちのけで共産党の集票活動」（『関西公明ジャーナル』三・四月号）などと、とんでもないいいがかりをつけ、党利党略の共産党攻撃に悪用しています。まったく許せません。

### 医療事故無くす関係者の懸命な努力を妨害

#### 自民・公明の医師抑制策で医療現場は過労死寸前

医療事故はあってはならないことです。「外部の専門家からなる調査委員会を設置」「『院内感染予防ガイドライン』を作成」（民医連）など、全国の病院関係者が、その根絶に懸命に取り組んでいます。

しかし、全国各地の医師不足は、過重労働やストレスによって医師や医療スタッフの心身がむしばまれて、医療事故の背景にもなっています。

これは、自公政府がすすめてきた医師数抑制方針が最大の原因です。自らの悪政の責任を、医療関係者になすりつけ、しかも共産党攻撃に利用……。政党としてのモラルのひとかけらもありません。

デマ宣伝も国保証取り上げも根はひとつ

### 命をそまつにする公明党に

### 政治は託せません

公明党は、どこの自治体でも値上げに賛成し、高すぎる国保料にしてきた張本人です。しかも、払えないと保険証を取上げること（資格証の発行）まで推進してきました。

医療事故を党利党略に悪用するデマ宣伝も、国保証の取り上げも根はひとつ。命をなによりも大切にする姿勢が公明党にはないのではないでしょうか。こんな政党には厳しい審判が必要です。

#### 「痛み押し付けてきた」と告白 公明党幹事長

「公明党は国政で与党になって七年。この間、高齢者の税負担、医療費、介護、すべて痛みをお願いしてきている」（公明党大阪府本部 小笹正博幹事長・2007/01/08「大阪日日新聞」）